



いよいよイギリスのレプトン校との交流プログラムが開始しました。両校の代表によるあいさつと 3 年目を祝う記念品の交換で始まったセレモニー。豊田市長及び豊田市議会から付託された親書や豊田の地域産業を代表する記念品もあわせて贈呈することができました。ローカルな「伝統」の上に、グローバルな力が加わることによって築かれる未来は輝かしいに違いありません。この場に集う若者たちのように。

セレモニーに続く生徒の口頭発表では、SSH校としての豊田西高の取組、さらに環境モデル都市としての豊田市の先進的な取組について、英語発表を行いました。流暢な発音に加え、ボディアクションを活用することで笑いも誘いながら、自分たちの学校やまちのことを伝えることができました。

レプトンは、創立 1557 年の名門パブリックスクールです。施設見学では由緒ある建築・施設の数々を歴史的な視点を交えて解説していただきました。まさに「ハリーポッター」に出てくるような学校に生徒たちは驚愕しきりです。男子寮、女子寮に分かれて昼食をとった後、午後は化学と生物の実験を行いました。もちろん説明はすべて英語。遺伝子の抽出や組換えなど、SS生物でも履修した内容・実験が取り上げられ、サイエンスが世界共通語であることを実感しました。



レプトン校の生徒とマッチング



豊田市からの親書や付託品の贈呈



豊田西高校の紹介



環境モデル都市としての取組



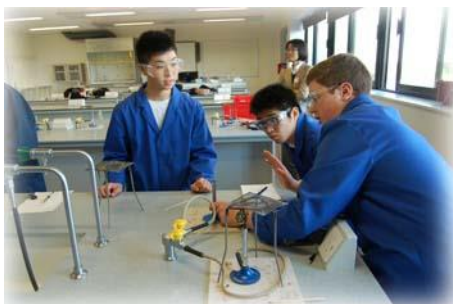
Science Prioryにて記念撮影



レプトン校の施設見学



図書館には歴代校長の肖像画



英語での合同化学実験



大腸菌を用いた遺伝子導入